

## 7 律令政府の政策

### 遣唐使の派遣

ほぼ 20 年に 1 度派遣

- ①留学生・僧： **吉備真備**・**玄昉**（橘諸兄政権）
- ②渡来僧：帰国の遣唐使船により、鑑真らが来日
- ③航路：初め **北路** だったが 8 世紀以降 **新羅** との関係悪化後は危険な **南路** を利用、地図で出る。  
「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山に出でし月かも」阿倍仲麻呂も留学生。

Pain is inevitable Suffering is optional



であること、この時の天皇は⇒ **元明** 天皇である。  
この和同開珎は唐の **開元通宝** を模したものである。  
関連して **蕃銭叙位令** が出たが **畿内では流通しなかった**。また、皇朝十二銭の最後が村上天皇期に鑄造された **乾元大宝** を記憶したい。

### NOTE 地方官衙と辺境

#### 官道の整備

都を中心に七道の諸地域に伸びる官道（駅路）が整備された。官道には、一定距離ごとに ⇒ **駅家** がおかれ、公用の役人が利用した。

#### 日本海側の東北経営

大化改新直後、唐の高句麗攻撃によって対外的緊張が高まったため、647 **淳足柵**・648

**磐舟柵** が設けられた。さらに 7 世紀後半には 阿倍比羅夫 が蝦夷征討事業を推進。8 世紀には **出羽柵** がおかれ、ついで秋田城も築城された。

#### 太平洋側の東北経営

724 年に **多賀城** 設置。以後、太平洋側の拠点となる。

鎮守府・国府として軍事拠点となっていた。

#### 九州南部への支配拡大

南九州の **隼人** と呼ばれた人々の地域には、薩摩国と大隈国がおかれた。 **大伴旅人** が征隼人持節將軍に任ぜられたは、難問だ！



### 渤海・新羅との関係

場所を地図で確認。

- ① **新羅**…676 年、半島統一。日本との往来少なくなかったが、日本が新羅を従属扱いたため次第に冷却化。
- ② **渤海**…中国東北部、7 世紀末に建国。唐・新羅に対抗するため日本に使節を派遣した。日本はこれを **朝貢の使節として** 歓待した。使節の往来は九州を経由しないルートであったので、越前国の **松原客院** と石川県の **能登客院**、平城京の **鴻臚館** で接待された。地図で確認。

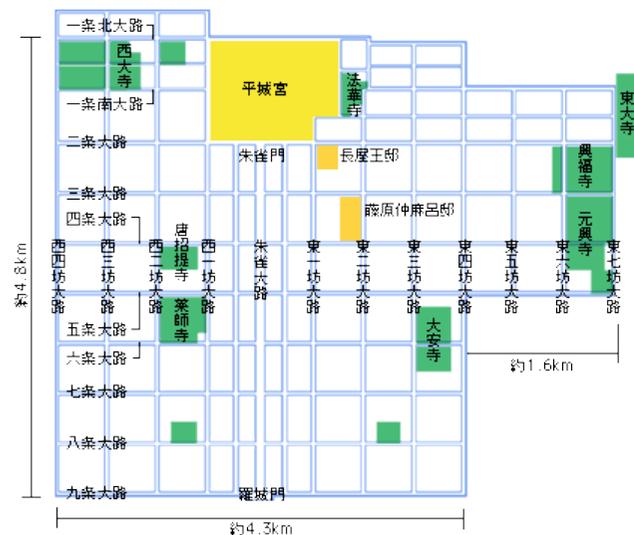
### 奈良の都・平城京

遷都⇒ **元明** 天皇時

- ① **平城京**（唐の都長安にならう ⇒ **条坊制**）  
⇒ **朱雀大路** を中心に東が **左京**・西が **右京**、東西に官営の **市**（**市司** が管理）

朱雀大路北側には **大内裏** が区画され、天皇の生活の場が内裏で、政務を行う **朝堂院**

や、**即位の礼を行う大極殿** などが配置された。内裏と大極殿・朝堂院や諸官庁がある地域が **平城宮** である。



### 奈良へ移転する寺院

- （ **大官大寺** ） ⇒ 大安寺
  - （ **飛鳥寺** ） ⇒ 元興寺
  - （ **山科寺** ） ⇒ 興福寺
  - （ **東大寺** ）や（ **西大寺** ）が創建される。
- 国分寺・国分尼寺の中心  
（ **法華滅罪之寺** ）

### 和同開珎

銭は **同** で、元号は **銅**

### 奈良時代の政治過程

#### NOTE 奈良時代の政争

●奈良時代は約 10 年ごとに藤原氏と皇族出身者が政権を交代している時代だと思えばよい。例外が道鏡。

政権担当者（藤原不比等 ⇒ **長屋王** ⇒ 藤原四子 ⇒ **橘諸兄** ⇒ 藤原仲麻呂 ⇒ **道鏡** ⇒ 藤原百川）の順番である。

#### 不比等

不比等は、娘宮子を文武天皇の妻とし、その子 ⇒ **首王子** 後の ⇒ **聖武天皇** にも娘の ⇒ **光明子** を嫁がせた。

①710 年代 = ♣ **藤原不比等** 中臣鎌足の子、妻は **泉大養橘三千代**

(a) **養老律令** 制定 718

不比等没

②720 年代： **長屋王**（天武天皇の孫）政権確立

723 **三世一身法** 制定

729 年、 **光明子** 立后問題をめぐって、長屋王は藤原四子と対立し、自殺（ **長屋王の変** ）

光明子：光明皇后は **悲田院** や **施薬院** を作った。仏教で善行を積むもの。

Pain is inevitable Suffering is optional

※長屋王家の木簡は約4万点、教科書48P精読せよ！

藤原四子

③730年代：藤原四子勢力拡大。光明子を聖武天皇の皇后（天皇の正妻）とすることに成功。→しかし737年天然痘により四子兄弟没。

不比等	長男：武智麻呂（南家）（なんて無知）	仲麻呂
	次男：房前（北家）（きたない房前）	撰関家とつながる
	三男：宇合（式家）	—広嗣（しきのうまい） □—種嗣—仲成
	四男：麻呂（京家）	百川—緒嗣—薬子（今日はロマン）
	宮子：（文武天皇妃）←天皇家に楔を打つ	
	光明子：（聖武天皇妃）後妻の県犬養三千代を母とする娘	

④740年代：橋諸兄（皇族出身）が政権掌握。

→吉備真備・玄昉 プレーン。吉備真備は右大臣まで昇進した。吉備氏は吉備地方を根拠地とする豪族で、鉄・塩を資源として栄えたという。この地方には国内4位の規模を持つ造山古墳があり、古墳時代に大きな勢力があったことがわかる。

吉備真備・玄昉の排除を求めて※藤原広嗣の乱が九州北部で起こった。

→以後、朝廷は動揺し、聖武天皇は遷都を繰り返した。遷都の変遷、これが出るね！ 恭仁京 → 難波宮 → 紫香楽宮。

鎮護国家思想の整備

741 国分寺建立の詔

743 大仏造立の詔 → 恭仁京 で発せられた。

国分寺 = 金光明四天王護国之寺 に

僧20人を置く

国分尼寺 = 法華滅罪之寺 に僧尼10人を置く

国分寺は「護国」を国分尼寺は「滅罪」を祈った。写すべき経典は金光明最勝王経 と 法華経 である。

総国分寺は 東大寺 である。

東大寺創建当時の建物は 法華堂 ・ 転害門 ・ 正倉院 である。

史料研究

空欄補充

大仏は 盧遮那仏 である。

また、華嚴経 の本尊である。

開眼供養

**大仏造立の詔**  
 （天平十五年）冬十月辛巳。詔して曰く「……菩薩の大願を發して、（盧舍那仏）の金銅像一を造り奉る。……夫れ「天下」の富を有つ者は朕なり。「天下」の勢を有つ者も朕成り易く、心や至り難き。……」

**史料研究 国分寺造立の詔**  
 （天平十三年三月）乙巳、詔して曰く、「……宜しく天下の諸国をして各々敬して七重塔一区を造り、併せて「金光明最勝王経」「妙法蓮華経」各部を写さしむべし。……僧寺には必ず廿僧有らしめよ。其の寺の名を「金光明四天王」護国之寺とし、尼寺には一十尼ありて、其の寺の名を「法華滅罪之寺」と為す。……」【続日本紀】

儀式の中心を担った菩提僊那は、インドの僧である。

⑤750年代：藤原仲麻呂（南家、武智麻呂の子）の勢力が伸張。749年に孝謙天皇が即位し、その母である光明皇太后（光明子）の権威が高められたため、仲麻呂が台頭した。光明皇后のために紫微中台を作り、その長官となった。仲麻呂政権下で養老律令がやっとなし、施行されたことを記憶したい。757年、仲麻呂を倒そうと橘奈良麻呂（諸兄の子）が立ち上がるものの逆に滅ぼされた→これを※（橘奈良麻呂の変）という。その後、みずから擁立した淳仁天皇より 恵美押勝の名を賜った。→760年、光明皇太后没により仲麻呂の権力弱体化。道鏡台頭、孝謙上皇側に先制され、仲麻呂は近江国で敗死。淳仁天皇は淡路に流された。

⑥760年代：道鏡（僧侶）仏教政治を展開。孝謙太上天皇（のち再び即位して→称徳天皇）の信任により、道鏡は異例の出世を遂げた。765年に寺社を除いて開墾が一時禁止される加墾禁止令は史料参照。769年には、称徳天皇が道鏡に皇位を譲ろうとする事件（宇佐八幡神託事件）も発生したが、この動きは和氣清麻呂らの行動で成功しなかった。→770年、称徳天皇没。道鏡は下野薬師寺へ左遷。

⑦770年代：皇統は天智系へ。藤原百川（式家、宇合の子）らが→光仁天皇を（天智天皇の孫）を擁立。混乱した律令政治の再建をめざした



天皇家と藤原氏関係系図

